

牛久市の資産は含み損を抱えています！

～企業会計方式のバランスシートから見てきた実態～

市では、これまで国の方法で作成してきた決算書類(バランスシート)を、平成18年度末を基準点として、企業会計の考え方を採り入れた新しいバランスシートで作成しました。

「第2の夕張市」を防ぎ、地域経営を安定的、かつ継続的に推進するため、牛久市は、ありのままの財政状況を常に公表し、その情報を市民の皆さんと共有、議論することが最も大切と考えています。

10年後の牛久市は…、そう思っている市民の皆さんへ、新しいバランスシートを公表します。

今までどおり国(総務省)のガイドラインに沿って作成すると
約547億の黒字

企業会計の考え方を

採り入れて作成すると…



約41億の赤字！！

この原因は、市の固定資産に多額の含み損を抱えているためです。

ただし、道路などのインフラ資産を売却できないものとして除くと、**約74億の赤字**になります。

ただし単年度においては、行財政改革の効果で資金繰りがついてきています。市では、今後も行財政改革を強力に推進し、浮いた財源で市民の皆さんの生活を豊かにするための施策を行っていきます！

また、ほかにも、市債(借金)の額を市全体で把握したり、退職給与引当金・不納欠損引当金の計上など、新しく企業会計の考え方を採り入れたことにより、いろいろなことが分かりました。

詳しくは、市行政経営課のホームページをご覧ください。

問い合わせ 市行政経営課 ☎873-2111内線3301～3303

ホームページ <http://www.city.ushiku.ibaraki.jp/section/keiei/index.htm>